

交通政策審議会陸上交通分科会
自動車部会 ヒアリング資料

全国知事会副会長

鳥取県知事

平井伸治

地域の自家用車・ドライバーの活用方策への要望・意見

○ 全国知事会要望 (R5.12.12)

【観光地の一部や都市部】

○ 課題: 運行管理や遠隔点呼等の安全性の確保

→ タクシー事業者の管理・責任のもと、一般ドライバー輸送を可能とする新たな運送制度の創設

【地方の交通空白地】

○ 課題: タクシー事業者等がない等、サービスの提供自体が困難

→ 自家用有償旅客運送制度の普及のための規制緩和・財政支援

→ 事故が発生した場合における責任の明確化を徹底する仕組みの検討



齊藤国土交通大臣へ要望

○ 各都道府県の意見

- **第1種免許での旅客運送**には、特に交通安全の確保や利用者保護の観点から、国において慎重な検討が必要
- **自家用有償旅客運送制度と同様、講習等を受講することが必要**
- 利用者の安全・安心の確保の観点から、規制緩和に当たっては**第2種免許の取得を前提にするなど、段階的に実施すべき**
- 運転者が不足する**都市部等における移動手段の確保**に向けた検討を進めるべき
- **公共交通人材の育成・確保に対する支援**を継続・充実すべき
- タクシー事業者の**採用活動や資格取得への支援強化**が必要
- 意欲と能力、責任を持って行える事業主体であれば、**タクシー会社に限らずアプリ運営会社や運転代行業者など、幅広い事業者**を対象にすべき

コミュニティ・ドライブ・シェア(鳥取型ライド・シェア)

○地域交通の維持・活性化のため、令和5年11月に5つの先導的支援制度を創設

ドライバー不足や利用者の減少により、事業者の撤退や路線の縮小が発生

バス・タクシーと住民の協働型交通システム構築や住民共助型運送など、住民・事業者・行政の共創による「コミュニティ・ドライブ・シェア」推進制度

○交通事業者等と住民ドライバーとの協働型

バス・タクシー事業者等と住民ドライバーとの協力による、交通空白地有償運送

(若桜町)

住民ドライバー×地元タクシー



○市町村主体型

市町村によるバス・デマンドバス・タクシー相乗り促進などによる交通体系構築



(日南町) デマンドバス

○住民共助型



タクシー事業者等が撤退交通空白エリアでの住民自らによる共助運送

(さじ未来号)



佐川急便と連携して、町が運行するスマイル大山号で、個人宅まで配送する貨客混載を実施

(大山町) 貨客混載

○事業者無償運送活用型

交通空白エリアでの観光・宿泊事業者等の送迎車両や貨物車両の空席を有効活用

○交通事業者主導型

バス・タクシー事業者のドライバー確保2種免許取得経費、求人に係る広報費等を支援

コミュニティ・ドライブ・シェア(鳥取型ライド・シェア)

○人口減少に伴うドライバー不足や利用者減が進む中、コミュニティの絆を活かし
「コミュニティ・ドライブ・シェア」推進制度による自家用車の活用

交通事業者 × 自家用車 × 行政

【智頭町：のりりん】

- 地元住民がマイカーを使用する、交通空白地有償運送(ドライバー:19人)
- 智頭町全域での、AIオンデマンド乗合タクシー(延べ約3千人/月の町民が利用)
- 課題:運行管理や遠隔点呼等の管理部分
→日野自動車による運行管理を実施



コールセンター



タクシー車両

○配車アプリ未導入のタクシー事業者でも実施しやすい制度へ

- 大規模イベント(ねんりんピック)など、地域や時期が限定された急激な需要増に、対応できる仕組みに
- タクシーが不足しやすい金・土曜日の夜間に対応できる仕組みに
- 配車アプリ導入に向けた支援を

【参考】 第36回全国健康福祉祭
(ねんりんピック)鳥取大会

- ・令和6年10月19日(土)
~22日(火)
- ・参加予定人員:延べ約40万人



○運行・管理に協力する交通事業者や、一般ドライバーの活用などに必要な財政支援を。

○自家用有償旅客運送に係る運行主体を、地域の運送会社なども選択できるように拡充を。